

◆人文科学研究科 身体表象文化学専攻 博士前期課程 カリキュラムマップ

教育研究上の目的							
身体表象文化学専攻は、現代のイメージ芸術(主に舞台芸術、映像芸術、マンガ・アニメーション)に関して広い知識を持ち、専攻分野の研究対象を調査・分析し、それを通じて現代文化について独自の意見を発信できる能力を持つ人材を養成する。							
ディプロマ・ポリシー							
(知識・技能)							
1 舞台芸術、映像芸術、マンガ・アニメーション、身体表象文化論、身体表象文化史の5つの分野のうち1分野に関して、広範な知識を身につけている。							
2 自身の専攻する分野に関して、研究成果を論文にまとめ、口頭で発表することができる。							
(思考・判断・表現)							
3 自身の専門とする主題について主要文献を読破し、研究対象を詳細に研究・調査・分析するとともに、その研究によって表象文化・芸術の歴史と現在について批判的に語ることができる。							
4 現代文化と社会について自らの意見を発信することができる。							
(関心・意欲・態度)							
5 自身の専攻する分野について包括的な専門知識を修得し、方法的検討をしつつ特定の専門的研究テーマに取り組む意欲がある。							
分野系列	科目名	単位	知識・技能		思考・判断・表現		関心・意欲・態度
			1	2	3	4	5
【必修科目】	修士論文	0	○	◎	◎	○	◎
	修士論文指導	2	○	◎	◎	○	◎
【選択必修科目】	舞台芸術文化論演習	2 または 4	◎	○	◎	○	◎
	映像芸術文化論演習	2 または 4	◎	○	◎	○	◎
	マンガ・アニメーション芸術文化論演習	2 または 4	◎	○	◎	○	◎
	ジェンダー文化論演習	2 または 4	◎	○	◎	○	◎
	身体表象文化史演習	2 または 4	◎	○	◎	○	◎
	表象文化制度論演習	2 または 4	◎	○	◎	○	◎
	舞台芸術批評研究	2 または 4	◎	○	◎	○	◎
	映像芸術批評研究	2 または 4	◎	○	◎	○	◎
総合基礎科目	マンガ・アニメーション芸術批評研究	2 または 4	◎	○	◎	○	◎
	舞台・映像芸術 I	2	◎		◎		◎
	舞台・映像芸術 II	2	◎		◎		◎